

令和5年度 第2回

交野市水道事業経営審議会

議事要旨

令和5年7月14日開催

## 交野市水道事業経営審議会（第2回） 議事要旨

開催日時	令和5年7月14日（月）15：30～
開催場所	交野市水道局 会議室
出席委員	後藤会長、覚道委員、森本委員、山崎委員、竹内委員、代永委員、市岡委員（欠席者：畑山副会長）
傍聴者	なし
次第	1. 開会 2. 議事 財政計画の策定及び料金水準の算定について 3. その他 4. 閉会
資料	次第 資料1 第2回交野市水道事業経営審議会資料 資料2 審議会委員名簿
所管	交野市水道局 総務課

## 議事概要

### 1. 開会

事務局より、開会の挨拶

### 2. 議事

事務局より、資料1について内容を説明

— 以下、意見・質疑応答 —

#### 【財政計画の策定及び料金水準の算定について】

委員

「補助事業の採択」と「基幹管路更新工事」が、なぜ水道料金値上げの抑制になるのか。また、長期的な目線での効果はあるのか。

事務局

資料1の35から36ページをご参照ください。

企業債借入と国からの補助金は資本的収支に収入として入ります。

これは供給単価や給水原価に関係ある損益勘定には影響しません。

しかし、35ページ下部の吹き出しにありますとおり、「長期前受金戻入の増加、支払利息の減少により給水原価が減少し、料金改定率を引き下げます。」とあります。

長期的に見て効果はありますし、料金改定率が下がることがわかります。

委員

補助事業による財源の確保の確実性はあるのか。

事務局

現状、申請要件に当てはまった場合、補助金を獲得することができますが、他の事業体の申請もありますと、パイが減り補助率が減る可能性がございます。

当局としては、早い時期に補助事業を採択したい考えです。

会長

前回の審議会から工事費の支出についてどう変わっているのか。

事務局

前回は工事費全額を当局が支払う形でしたが、今回は補助金の収入が3分の1あるという前提でシミュレーションを行っています。

委員

前回の審議会では5年後に料金改定を行うシミュレーションであったが、今回のシミュレーションでは3年後に料金改定があるということを市民へきちんと説明すべきである。

事務局

了解しました。今のシミュレーションは、高騰している燃料費が3年後に収束する見通しで作成しております。

予測が難しい燃料費を5年間高騰し続けると予測するよりは、一旦3年で終息する見通しとし、3年後にもう一度見直しを行い、シミュレーションするべきであると考えております。

委員

市からの繰入金により、料金改定を抑制することはできないのか。

事務局

市からの繰入金は、基本的には児童手当などの法定内のものに限られます。

また、公営企業は独自採算制であり、法定外の繰入金がありますと赤字補填とみなされかねないため、道義を問われることとなります。

さらに、繰入金は水道の売り上げではありませんので、供給単価が引き上げられず、補助金を獲得する計算には含まれず、補助対象の水準に達しません。

会長

市長の提案した3つの施策については、皆さんご理解いただいたでしょうか。

委員一同

はい。

会長

料金体系について、皆さんからご発言いただきたい。

委員

動力費がこの先どうなるかわからない状況ですので、5年より緻密に3年毎に常に状況を見ながら判断していく手法のパターン4が良いのではないかと思います。

委員

個人的にもっと高い改定率でも良いかと思っておりますが、パターン4に賛成です。

委員

一消費者としては、最初に大きく改定して長期間据え置きの方が良いと考えますので、パターン4以外が良いかと思えます。

委員

色々な状況を考えますと、私もパターン4が良いかと思えます。改定率16%というのは、シミュレーションを見ますと限界の数値かと思えます。

委員

今の社会情勢を見ますと、料金改定を行って良いと考えます。後にしわ寄せが大きくなるより、今改定を行って、今後徐々に見直しをする方が良いと思えます。

委員

個々の改定率は料金体系の中で色々考えていただくとしまして、長期的な財政を考えますとパターン4の方針が良いと思えます。

会長

前回の審議会では13%の改定となりましたが、社会情勢により今回の内容は改定率が上がりました。

そして、様々な案も出ましたが、パターン4の意見が多数でした。

他の意見の方、いかがですか。

委員

異議ありません。

会長

では、パターン4の16%改定で、改定頻度は3年ごとを想定することとしてよろしいでしょうか。

委員一同

異議なし。

3. その他

今後の審議会のスケジュールについて

4. 閉会

以上